

一般質問 (要旨)

「市政のここを問う」



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

今定例会では、13名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しています。会議録は7月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

加藤市長の4期目の市政運営について



正和会
杉山 行男 議員



質問 加藤市長の4期目が始まった。大きな変革と決断の時期だと思うが、市政運営について所見を伺う。

市長 まちづくりを進める上での主な課題として、①新型コロナウイルス感染症対策、②定住化対策における子育て支援施策、③福生駅周辺整備事業が挙げられる。福生市総合計画(第5期)も始まり、様々な施策を着実に推進するため、私、市職

員はもとより、議員、市民の皆様と「チーム福生」で取り組みたい。

横田基地内の新型コロナウイルス感染症対策等について

質問 市の要請等の取組、基地の感染症対策状況及び感染者の発生状況について伺う。

市長 3月27日、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から迅速で万全な措置と情報提供、感染

者発生時の通報を要請。その後米国防総省が基地別の感染者数等の非公開の方針を示したため、速やかな情報提供を改めて要請。対策状況では4月7日に公衆衛生非常事態宣言が発令、入門時の検査や任務外の移動制限等が行われている。感染状況は、4月28日及び5月7日に他基地所属の海軍兵に感染を確認。隔離対応の上、既に全員が基地を発っている。



▲福生市総合計画(第5期)

新型コロナウイルス感染症対策等、災害時の避難所及び長期避難所について



自民党福生
町田 成司 議員



質問 昨年の台風第19号での課題の検証は。また新型コロナウイルス感染症流行下の避難所の感染対策や、避難が長期化した場合の対策は。

市長 台風第19号での市民や市職員からの意見をもとに庁内で検証。初動対応を円滑に進めるマニュアル作成や防災行政無線の戸別受信機の追加配布等、これまでの対策に積み増す。新型コロナウイルス流行下の

避難所運営は国からの通知に基づいて対応する。避難の長期化には、被災者の社会秩序維持のため、都と協力し被災住宅に関する対策を進める。

事業者に対する支援について

質問 自粛要請での休業など、中小企業や小売店に対するの支援策は。

市長 市独自の緊急支援策として、福生市中小企業振興資金融資制度で

当分の間、据置期間を6月以内から12月以内に延長、運転資金の利用上限も1千万円から1500万円に引き上げた。また、中小企業診断士による支援相談を実施。さらに国や都または福生市からの支援や融資を受けた事業者に10万円を給付する福生市事業継続応援金給付事業を今議会に上程する。また、国の融資に必要な認定書の発行に遅滞なく対応している。



▲福生市事業継続応援金給付事業のポスター

PCR検査と軽症者の対応について



公明党
原田 剛 議員



質問 新型コロナウイルスのPCR検査で陽性反応だが軽症である場合、どのように対応しているか。

市長 陽性の場合、医師により入院が必要かどうかの判断がされ、都では入院治療の必要がない軽症者や無症状者は、家庭の事情で自宅療養を選択せざるを得ない場合を除き宿泊療養を基本とし、都が用意したホテルなど宿泊施設で療養し、健康観

察等を行っている。自宅療養となった場合は保健所等によるフォローアップがなされている。なお、検査結果が陰性であっても体調のすぐれない方は、かかりつけの先生方に引き続き診ていただくことになる。

予防接種について

質問 乳児のBCGワクチンは集団接種として保健センターで行うが、新型コロナウイルス感染症への対策

は取っているのか。

市長 月1回保健センターで集団接種の機会を設けている。感染症流行により3月から中止していたが、国から予防接種の引き続きの実施と接種機会の確保を図る旨の通知があったことから、医師会と相談の上、1回の来場者を減らし、会場の導線に注意し感染防止策を講じた上で実施を再開している。



▲感染防止対策を講じた予防接種会場

市内事業者の今後の新たな支援策について



正和会
小林 貢 議員



質問 新型コロナウイルス感染症の影響で様々な支援策があるが、支払いに窮する事業者も多い。借入れ資金の返済条件緩和等、市として配慮を要請する予定はないのか。

市長 国から金融機関へ返済猶予等の既往債務の条件変更に対し柔軟に対応するなどの配慮要請がされ、市内金融機関も対応をしているとのことで、市から要請の予定はない。

児童・生徒の学びの場に関する対応について

質問 長期休業中、生徒と教諭・教師との声や顔が見える連絡は行われていたか。本来受けるべき学習教科の補完方法は。また、再開に際し教室の「3密」をどう回避するのか。

教育長 各校で週1回程度課題配付日を設け、一人一人の心身の様子を直接把握。電話やメール等も使い、

全く連絡が取れない児童・生徒はいなかった。また、オンライン形式の学級活動も試行している。学習教科の補完は、令和元年度末までの分は春季休業中に補習等に対応、2年度分は年度中に全て指導する。「3密」の回避は、福生市立学校版感染症予防ガイドラインを改訂。分散登校日を設定するなど、感染予防と児童・生徒の心身状態に最大限配慮する。



▲「3密」を回避するための体育館での授業の様子